

公益財団法人 日本サッカー協会
2021年度 第5回理事会

2021年5月13日

報告事項

1. 第7回 AFC 理事会（4月7日開催）の件

第7回 AFC 理事会が2021年4月7日（水）にバーレーン・マナマおよびオンライン上で行われた。主な決定・報告事項は以下の通り。

- ・ AFC U-20 女子アジアカップ 2022 のホストをウズベキスタンに決定し、開催日程を2022年4月4日～4月17日に決定。
- ・ AFC U-17 女子アジアカップ 2022 のホストをインドネシアに決定し、開催日程を2022年5月9日～5月22日に決定。
- ・ パキスタンサッカー連盟資格停止処分について。
- ・ AFC2021年暫定予算およびフットボール・マーケティング・アジア（FMA）とのエージェンシー契約改正を含む商業権関連事項について。
- ・ 第31回 AFC 総会ならびに AFC アニュアル・アワードを2021年11月にカタール・ドーハで開催することを決定。

2. 47都道府県サッカー協会におけるFAコーチ（技術担当者）専任化の件

（報告）資料1

47都道府県サッカー協会（FA）におけるFAコーチ（技術担当者）の専任化については、2019年10月の理事会において47FA向け補助金交付を決議し、各FAと協議の上、技術委員会が決定することとした。これを受け、FAから申請のあった候補者について技術委員会で審査した結果、添付の通り新たに1FAで決定した。

今後、未定となっているFAについて、申請があり次第、随時審査を行う。

これまでに決定したFA：23FA

今回決定したFA：1FA

合計：24FA

3. ヘディングについてのJFAガイドライン作成・発信の件

（報告）資料2**【ガイドライン作成の背景】**

プロサッカー選手は一般人より認知症など神経変性疾患で死亡するリスクが3倍以上も高いとする研究結果（Mackay, D. et al. 2019）などを受けて、スコットランド、イングランドなどのサッカー協会は、若年代でのヘディングの禁止と段階的なヘディングの導入のガイドラインを策定した。同様に、アメリカでは子どものスポーツ中の脳震盪についての問題意識が高く、サッカーにおいてはヘディングがその対象となり、練習や試合でのヘディングの禁止や制限がなされるようになった。

リスクを避けるために禁止すると判断することは簡単であるが、「正しく恐れ」、適切な段階的習得により積極的に取り組むことが重要と考えられる。

【ガイドライン作成の目的】

ヘディングの認知機能への影響を多角的に確認し、リスクを低減した低年齢からの適切な正しい技術の習得のガイドラインを作成した。

リスク低減のためにも、正しいテクニックを習得することが重要であると考え、安全に、脳へのダメージのない強度・方法で、低年齢より段階を追ってヘディングを習得するステップのガイドラインを作成する。併せて、習得に安全で有効な用具の開発にもアプローチしていく予定である。

【JFAの方針】

ヘディングによる頭部への衝撃などが脳機能へ影響するリスクを最大限に配慮し、低年齢からの適切なヘディング技術の習得のガイドラインを示す。

子どものサッカーにおいてヘディングの頻度は低く、ゲームでの最重要の要素ではないが、安全の観点も含めて正しい技術の習得が将来に向け必要である。またコーディネーションの発達、技術習得の観点から、キッズ年代からのヘディング技術習得のためのトレーニングや指導は必要である。

子どもたちの安全を守るために全ての指導者がこのガイドラインを理解し、指導することが大切である。さらに、ヘディングに関わるリスクについてはその科学的な根拠は十分ではないが、今後の医科学的な研究の報告を十分にフォローしながら本ガイドラインはアップデートしていかなければならない。

4. 2021/22 サッカー競技規則改正の件

(報告) 資料3 ①②③

2021/22 のサッカー競技規則改正を、別紙の通り行う。

<別紙>

1. 2021/22 年の競技規則改正に関する JFA 通達
2. 2021/22 年競技規則一概要と詳細(添付 1)
3. 2021/22 年競技規則の適用開始日について(添付 2)

5. Jリーグユース選手権大会 大会方式および大会名変更の件

(報告) 資料4

これまでJユースカップとして開催してきたJリーグユース選手権大会の大会方式を以下の変更内容の通り変更し、開催する。

主催 : 公益財団法人日本サッカー協会、公益社団法人日本プロサッカーリーグ
朝日新聞社、日刊スポーツ新聞社

大会趣旨 : 選手それぞれが成長できる機会を継続して提供する。
トップチーム、他カテゴリー、そして地域との連携を深める機会を提供する。

日程 : 2021年3月20日(土)~11月13日(土)

参加クラブ : J1、J2、J3の56クラブ

入場料 : 原則として無料

※ただしトップチーム有料試合の付帯イベントとして開催する場合を除く。

変更内容：主な変更内容は以下の通り。詳細は添付の大会要項を参照。

変更内容	大会形式	大会期間	参加チーム	参加選手
旧	大会名：2019 Jユースカップ 第27回 Jリーグユース選手権			
	カップ戦	10月～11月	Jクラブ53チーム + クラブユース連盟 地域代表4チーム	満年齢18歳以下
新	大会名：2021 Jユースリーグ 第28回 Jリーグユース選手権			
	リーグ戦 + カップ戦	3月～11月	Jクラブ56チーム	満年齢17歳以下 + 18歳以下のオーバー エイジ枠4名迄 (GK1名含む) + 練習生2名迄

6. JFA ロングパイル人工芝ピッチ公認（更新）の件

【更新】

申請者（施設所有者）：学校法人 東京国際大学

施設名：東京国際大学坂戸キャンパス第1サッカー場

（埼玉県坂戸市四日市場 81-1 東京国際大学坂戸キャンパス）

使用製品：住友ゴム工業株式会社 ハイブリッドターフ EX-65

公認期間：2021年2月8日～2024年2月7日

公認番号：第068号

申請者（施設所有者）：学校法人 東京国際大学

施設名：東京国際大学坂戸キャンパス第3サッカー場

（埼玉県坂戸市四日市場 81-1 東京国際大学坂戸キャンパス）

使用製品：積水樹脂株式会社 ドリームターフ MSpro2065

公認期間：2020年9月8日～2021年9月7日

公認番号：第114号

申請者（施設所有者）：浦安市

施設名：浦安市運動公園陸上競技場人工芝グラウンド（千葉県浦安市舞浜 2-27）

使用製品：奥アンツーカ株式会社 フィールドターフ・レボリューション FTRV-1

公認期間：2021年2月12日～2023年2月11日

公認番号：第171号

申請者（施設所有者）：学校法人 十文字学園女子大学

施設名：学校法人 十文字学園女子大学 サッカーグラウンド

（埼玉県新座市菅沢 2-1-28 十文字学園女子大学内）

使用製品：積水樹脂株式会社 ドリームターフ PT2065RS+

公認期間：2021年4月9日～2023年4月8日

公認番号：第174号

申請者（施設所有者）：泉佐野市

施設名：泉佐野南部公園グラウンド（大阪府泉佐野市南中樫井 897-2）

使用製品：積水樹脂株式会社 ドリームターフ PT2065RS+U CCP-CF (Be)

公認期間：2021年4月12日～2024年4月11日

公認番号：第216号

申請者（施設所有者）：四日市市

施設名：中央フットボール場 A フィールド（三重県四日市市日永東 1-3-21）

使用製品：住友ゴム工業株式会社 ハイブリッドターフ EX-55HP・SP

公認期間：2021年5月17日～2024年5月16日

公認番号：第219号

<特記事項>

使用製品は JFA ロングパイル人工芝公認規程に基づく製品検査（ラボテスト）を完了している。
当該施設は JFA ロングパイル人工芝公認規程に基づく現地検査（フィールドテスト）を実施し、基準を満たしている。

7. JFA・Jリーグ特別指定選手制度の件

(1) 選手名：五十嵐 理人（いがらし まさと）

所属チーム：鹿屋体育大学サッカー部

受入先：栃木 SC

所属歴：ともぞうサッカークラブ

ともぞうサッカークラブジュニアユース

群馬育英学園私立前橋育英高等学校

認定日：2021年3月30日

(2) 選手名：山原 怜音（やまはら れおん）

所属チーム：筑波大学蹴球部

受入先：清水エスパルス

所属歴：京都紫光サッカークラブ

JFAアカデミー福島U-15

JFAアカデミー福島U-18

認定日：2021年4月13日

(3) 選手名：田部井 涼（たべい りょう）

所属チーム：法政大学体育会サッカー部

受入先：横浜 FC

所属歴：関南サッカークラブ前橋

前橋フットボールクラブ

群馬育英学園私立前橋育英高等学校

認定日：2021年4月13日

(4)選手名：田中 宏武（たなか ひろむ）

所属チーム：立正大学体育会サッカー部

受入先：北海道コンサドーレ札幌

所属歴：FC尾島ジュニア

前橋ジュニアユース

桐生第一高等学校

認定日：2021年4月13日

8. JFA グラスルーツ推進・賛同パートナー認定の件

下記の団体を「JFA グラスルーツ推進・賛同パートナー」として新たに認定した。

※（ ）内は、主な活動場所／賛同テーマ

認定日：2021年1月15日

- 1) ウォーキングサッカー・イン・ザ・サイレンス
（東京都／障がい者サッカー・社会課題への取り組み）

認定日：2021年2月1日

- 1) 桶川 QLS（埼玉県／引退なし・補欠ゼロ・女子サッカー）
- 2) 一般社団法人 ELF FREUNDE SPORT CLUB（埼玉県／引退なし）
- 3) シャフユナイテッド（東京都／引退なし・補欠ゼロ・女子サッカー・社会課題への取り組み）
- 4) REPLO（東京都／引退なし・補欠ゼロ・障がい者サッカー・女子サッカー・施設の確保・社会課題への取り組み）
- 5) love. fútbol Japan（神奈川県／施設の確保・社会課題への取り組み）
- 6) S. I. S Special Training（和歌山県／引退なし・補欠ゼロ・障がい者サッカー・女子サッカー・社会課題への取り組み）

認定日：2021年2月15日

- 1) 城東ジュニア（栃木県／補欠ゼロ）
- 2) 一般社団法人みやきスポーツコミッション（佐賀県／引退なし・補欠ゼロ・障がい者サッカー・女子サッカー・施設の確保・社会課題への取り組み）

認定日：2021年3月1日

- 1) 湯野サッカークラブ（山口県／引退なし・女子サッカー・社会課題への取り組み）

認定日：2021年3月15日

- 1) FC アクセル Jr. '09（東京都葛飾区／補欠ゼロ・施設の確保）

認定日：2021年3月31日

- 1) Football Community（栃木県／引退なし）
- 2) ネクサス SV（埼玉県／引退なし・補欠ゼロ・女子サッカー・社会課題への取り組み）
- 3) フットサルクラブ朝霞（埼玉県／引退なし）
- 4) ウォーキングフットボールクラブ HUMAN（新潟県／引退なし・補欠ゼロ・障がい者サッカー）
- 5) 富曾亀フットボールクラブ（新潟県／補欠ゼロ）

- 6) Football club rêve (岐阜県／補欠ゼロ)
- 7) 株式会社 C000L (福岡県／施設の確保・社会課題への取り組み)

以上の結果、2020年度の認定は以下の数で終了した。

2020年度認定団体数	: 183 団体	
・ 2019年度からの更新認定団体数	: 135 団体 (152 団体中)	※更新は7月15日で完了
・ 2020年度の新規認定団体数	: 48 団体	

テーマ別

・ 引退なし	: 112 団体
・ 補欠ゼロ	: 136 団体
・ 障がい者サッカー	: 91 団体
・ 女子サッカー	: 81 団体
・ 施設の確保	: 46 団体
・ 社会課題への取り組み	: 82 団体

9. 審判員海外派遣の件

審判員の国際試合への派遣は次の通り。

<審判員>

(大会・試合)

- ① Women's Olympic Football Tournament Tokyo 2020 - Preliminary Competition Asian Zone
- Playoff - 中国 vs 韓国
派遣期間: 4月11日～4月15日
場所: 中国/蘇州
審判員: 山下良美・坊蘭真琴・手代木直美
- ② AFC Champions League 2021 - Group Stage - Group D
派遣期間: 4月7日～5月2日
場所: サウジアラビア/リヤド
審判員: 佐藤隆治・山内宏志・三原純
- ③ AFC Champions League 2021 - Group Stage - Group E
派遣期間: 4月8日～5月2日
場所: インド/ゴア
審判員: 木村博之・西橋勲・聳城巧
- ④ AFC Champions League 2021 - Group Stage - Group B
派遣期間: 4月9日～5月2日
場所: アラブ首長国連邦/サルジャー
審判員: 飯田淳平・野村修

10. 名義使用申請の件

- (1) 申請団体: HIOKI FOOTBALL CAMP 実行委員会
行事名称: HIOKI FOOTBALL CAMP

場所： 吹上浜人工芝サッカー場／吹上陸上競技場／伊集院総合運動公園サッカー場
 開催日： 2021年2月6日
 主催： 日置市施設利用促進協会
 共催： 日置市役所／SOLTILO Knows 株式会社
 後援： 日置市役所教育委員会／公益財団法人日本サッカー協会／
 一般社団法人鹿児島県サッカー協会
 協力： 日置市施設利用促進協会会員の事業者／伊集院サッカー協会／
 株式会社 KAGO 食スポーツ／エグゼフ／EURO J SPORTS ACADEMY／
 FEGA フットサルクラブ／ひおき PR 武将隊／伊集院サッカーコーチアカデミー／
 学校法人鹿章学園鹿児島城西高校サッカー部
 目的：

- ・日置市の充実したスポーツ施設環境を発信・活用した競技間連携
- ・『交流・体験』の機会を通じた個々の技術力やチーム力の向上および人間力の向上
- ・ネットワークの構築による個々およびチーム間の情報共有・交流
- ・地域の豊富な食材を活用した食育活動さいたま市ノーマライゼーション条例の啓発事業

 内容：

- ・中学1年生をメインとした、宿泊体験型のスポーツキャンプ
- ・小学生を対象とした一日体験型のサッカーイベント

(2) 申請団体： 特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会

行事名称： IBSA ブラインドサッカーワールドグランプリ 2021 in 品川

場所： 品川区立天王洲公園（東京都品川区）

開催日： 2021年5月30日～6月5日

主催： International Blind Sports Federation（IBSA：国際視覚障害者スポーツ連盟）／特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会

共催： 品川区（特別共催）／東京都／
 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会／
 一般財団法人インターナショナル・ブラインドフットボール・ファウンデーション

特別協賛： 参天製薬株式会社

後援： 厚生労働省／スポーツ庁／公益財団法人日本サッカー協会／
 一般社団法人日本障がい者サッカー連盟／

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会／公益財団法人東京都サッカー協会

協力： 各参加国大使館／公益財団法人日本ケアフィット共育機構／品川区関係団体

目的： (1) 2021年日本チームが最大の力を発揮できるよう、エリートカテゴリーチームとの試合経験を積むため

(2) 2021年東京パラリンピックへの機運醸成のため

(3) 動画・音声配信サービスを活用したブラインドサッカーの観戦環境の向上

内容： B1クラス（全盲クラス） エリートカテゴリー-8カ国

5月30日-6月2日 グループリーグ

6月4日 順位決定トーナメント（7位決定戦・準決勝）

6月5日 順位決定トーナメント（5位決定戦・3位決定戦・決勝）

(3) 申請団体：公益社団法人マナーキッズプロジェクト

行事名称：マナーキッズサッカー教室

場所： 東京都

開催日： 2021年4月1日～11月30日

主催： 公益社団法人マナーキッズプロジェクト

後援： スポーツ庁／公益財団法人日本サッカー協会

目的： 全国の幼稚園園児・小学校児童に対し、スポーツ・文化及び社会活動を通して日本の伝統的な礼法を体験させることにより、挨拶や礼儀作法の基本的マナーの習得、体力・運動能力及び知的能力の向上を図り、「体」「徳」「知」のバランスの取れた、世界に通用する気骨ある人材育成に寄与する。

内容： 正しい姿勢等を身に付けさせるために、マナーキッズ体幹遊びを実施

11. 標章使用申請の件

(1) 申請者：一般社団法人長野県サッカー協会

内容：全国高等学校サッカー選手権長野県大会優勝旗1枚